

学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）

大阪電気通信大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3ポリシーに基づき、機関レベル（大学）・教育課程レベル（学部・学科）・科目レベル（授業・科目）の3段階で学修効果を査定する方法を定めています。

1. 機関レベル

学生の進路状況等から学修成果の達成状況を査定します。

2. 教育課程レベル

学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、卒業要件達成状況（単位取得状況・GPA）から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を査定します。また、学年ごとの単位取得率・成績分布の状況から、学士力における汎用的技能と態度・志向性について、各年次における学修成果を査定します。

3. 科目レベル

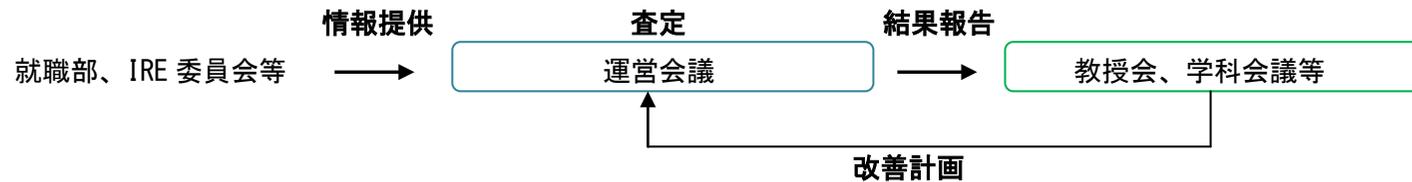
シラバスで提示された授業等科目の学修目標に対する評価、及び学生アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を査定します。

アセスメント・ポリシーに基づく各レベルでの査定とフィードバックの流れ

大阪電気通信大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル(大学)・教育課程レベル(学部・学科)・科目レベル(授業・科目)の3段階で学修成果を査定する方法を定めています。

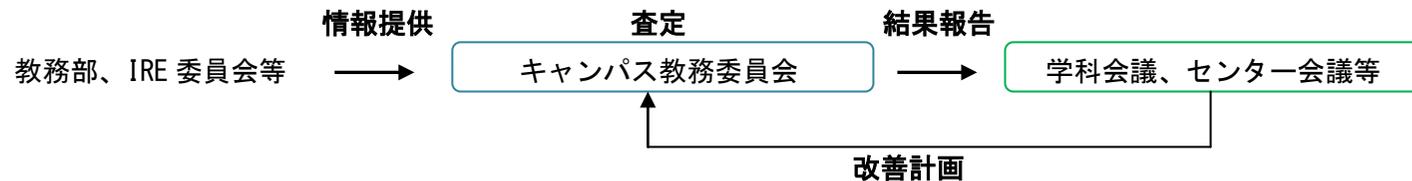
1. 機関レベル

学生の進路状況等から学修成果の達成状況を査定します。



2. 教育課程レベル

学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、卒業要件達成状況(単位取得状況・GPA)から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を査定します。また、学年ごとの単位取得率・成績分布の状況から、学士力における汎用的技能と態度・志向性について、各年次における学修成果を査定します。



3. 科目レベル

シラバスで提示された授業等科目の学修目標に対する評価、及び学生アンケート等の結果から、科目毎の学修成果の達成状況を査定します。

